

平成31年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

1 頁

1. 事務事業の概要

完了 評価対象 行計対象

事務事業名 (中事業)	25313 女性活躍推進事業			
基本政策	03 心豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち			
政策	05 人権と多様性を尊重する共生社会			
施策	03 男女共同参画社会の形成・推進			
実施形態	直営			
事業期間	単年度	平成27年度～		
要求区分	継続	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有無	努力規定あり			
法令名 条項	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律・第6条2項			
予算科目	01-020117-020200			
部名	21 都市経営部	課名	02 総合企画課	
課長名	赤松 たまゑ	T E L	0795-25-2800(直通)	内線

2. 対象・目的・内容

事業概要	起業や就労を希望する女性のエンパワーメントを目的とし、女性のチャレンジを支援する相談業務やセミナー等を実施するとともに、ハローワーク等関係各所と連携し、支援体制を整える。
事業の対象 (誰・何を)	起業や就労等にチャレンジしようとする女性。
事業の目的 (どういう状態にするために)	起業や就労を希望する女性のエンパワーメントによる自己実現とまちの活性化。(男女共同参画社会の形成)
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	起業や就労を希望する女性を支援するため、相談事業やセミナー等を実施する。

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成28年度決算額	1,022	408	0	0	0	0	614	
平成29年度決算額	503	0	0	0	0	0	503	
平成30年度決算額	597	0	0	0	0	0	597	
平成31年度予算額	718	0	0	0	0	0	718	

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成30年度のこの事業に 従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成30年度 決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.45	0.50	0.95	4,688	597	5,285
事業費の主な用途		セミナー、相談員等講師報酬費			

平成31年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

2 頁

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	就労起業相談、セミナー等開催回数				単位	回
	説明や数式	(主要施策の成果に関する報告書掲載回数)					
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度		
	目標値			50	50		
	実績値	44	47				
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
活動 指標 ②	指標名	就労起業相談、セミナー等参加延べ人数				単位	人
	説明や数式	(第2次西脇市男女共同参画基本プラン数値目標に掲げています。) (主要施策の成果に関する報告書掲載人数)					
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度		
	目標値	300	300	300	300		
	実績値	162	260				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	5,191 32.04	5,285 20.33				
成果 指標 ①	指標名	女性起業支援セミナー受講者のうち市内で起業した人数(累計)				単位	人
	説明や数式	女性起業支援セミナー受講者に対し事後アンケートを実施。市内で起業したと回答があった累計人数。 (28年度受講者3人+29年度受講者4人+30年度受講者2人)					
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度		
	目標値						
	実績値	7	9				
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成果 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	<p>就労や起業を希望する女性のエンパワーメントに向けた取組を推進する事業を展開。全てのセミナーに託児を設け、相談事業も子連れでの相談を可とするなど、子育て世代でも参加しやすい事業とした。</p> <p>特に、起業ステップアップセミナーや社会保障セミナーはアンケートから受講者の満足度が高いことがわかった。また、起業ステップアップセミナー受講者対象に事後調査を実施した結果、27年度～29年度セミナー受講者のうち累計21人(うち西脇市内9人)が起業したとの回答があった。</p>						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	4
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	5
	説明	<p>継続実施</p> <p>少子高齢化の中、持続可能な地域社会を実現するためには、女性の社会での活躍が不可欠であることから、引き続き男女共同参画センターにおいて、女性活躍推進事業を展開する必要がある。</p> <p>今後も就労や起業を目指す女性の希望を実現するため、関係各所と連携して事業に取り組む。</p>					
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	1
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	5
	説明	<p>改善・見直し</p> <p>市が行う女性起業セミナーの開催は、入門編と位置付け実施することで、有料で高度な内容を取り扱う民間団体実施セミナーへと順次ステップアップできるように内容及び実施時期が考慮されている点、また、累計21人もの方が起業につながっている点は評価できる。</p> <p>なお、市が単独実施するよりも、広域で実施する方が費用対効果が高まると思われるため、他自治体との共同開催について検討をされたい。</p>					